

ポリ乳酸/ホタテ貝殻/粘土よりなるバイオマス食器

耐衝撃性・耐熱性に優れ、射出成形性の良好なバイオマス食器

技術分野分類 4804 : 高分子・繊維材料

技術キーワード J : 高分子系複合材料

産業分類 E-18 : プラスチック製品製造業

内 容	概要	サトウキビなどの植物から製造されるポリ乳酸、未利用資源であるホタテ貝殻、天然鉱物である粘土を原料として製造された環境負荷の低いバイオマス食器。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	ポリ乳酸をはじめとするバイオプラスチックは耐熱性や耐衝撃性が低いのが問題となっているが、結晶化・混練トルクなどの制御により、これら欠点を改善した。射出成形可能であり、リサイクル性も良好である。
	本技術の有用性	ポリ乳酸をはじめとするバイオプラスチックは耐熱性が低いのが問題となっているが、開発した食器の耐熱温度は 120°Cで電子レンジでも使用可能である。また落としても割れず、耐衝撃性にも優れている。バイオマス由来の食器なので、汚染することなく廃棄できる。
関連情報 (図・表・写真等)		 
適用可能製品		業務用および家庭用食器、日用品
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	福田 徳生 あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター化学材料室長
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 総合技術支援・人材育成 担当 0566-45-5643 / 0566-24-1841 info@aichi-inst.jp

■知的財産 特開 2008-101096 「ポリ乳酸系樹脂組成物、並びに成形品及びその製造方法」

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2011年11月30日

修正日 2024年11月26日